

ぶらっとサロン椿通信 令和3年11月号

今号の椿：式部(しきぶ)

R3.2.25 撮影



報告:有楽齋

毎週火曜日の午後1時過ぎから午後4時半ごろまで、朝日2丁目集会所で「健康麻雀ミーティング」をワイワイガヤガヤとやっていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、昨年3月10日から自粛し**現在休局中**です
本年発行よりタイトルに『椿』を加えました 有楽齋

椿の話題を少々。椿は自家受粉をきらうので、種を蒔いて育てる(実生=みしょう)と親木とは異なる花を咲かせる可能性が高いという特性があります。前号に続いて**自然実生から生まれた品種②**をご紹介します。(※花の名称の赤字は親木・黒字は子です)



月光(がっこう)

C.j. 'Gakko' synonym:

'Bokuhan' 別名/ト伴(ぼくはん) (関東) 白芯ト伴(はくしんぼくはん) (愛知)

濃紅色 唐子咲き 花芯の唐子弁は白色 花糸は紅色 小輪 江戸期より広く知られた古典品種中の名花。環境により 唐子部の白色の萼に紅色の小絞りが混じる

※C.j.=Camellia japonica の略



華厳(けごん) /上左

C.j. 'Kegon'

白色 一重 筒〜ラッパ咲き 筒しべ 小輪 枝垂れ性

「月光」の自然実生から生まれた品種。



群雀(むれすずめ・むらすずめ) /上左中

C.j. 'Muresuzume' 'Murasuzumea' 濃紅色 八重 蓮華性 割りしべ 中輪

「月光」の自然実生から生まれた品種



式部(しきぶ) C.j. 'Shikibu' /上右中

紅色 一重 唐子咲き 唐子弁の縁に白色 小輪

「月光」の自然実生から生まれた品種。



花冠(はなかんむり) /上右

C.j. 'Hana-kanmuri' 淡桃色地 紅色縦絞り 一重 盃〜ラッパ咲き 筒しべ 中輪

「月光」の自然実生から生まれた品種。



花仙山(かせんざん)

C.j. 'Kasenzan'

一重 猪口咲き 筒しべ 小輪 筒しべの色も形も美しく 葉も小さくて 小輪の花との調和が良い
別名：不昧光(ふまいこう) は 松江の大名茶人 松平不昧公に因む。



御輪(ごりん) /上左

Camellia japonica 'Gorin' 白色 八重 やや蓮華性 肉厚 折れ弁 小輪

「花仙山」の自然実生から生まれた品種



最小白花(さいしょうしろばな) /上右

Camellia japonica 'Saishô-shirobana' 白色 一重 筒咲き 筒しべ 極小輪

「花仙山」の自然実生から生まれた品種



七曜変化(ななようへんげ) /上左

Camellia japonica 'Nanayô henge' 白覆輪、絞り花など 咲き分ける 宝珠〜八重咲き 大輪

親不明の自然実生



月の輪(つきのわ) /上右

Camellia japonica 'Tsuki-no-wa' 濃紅色地 白斑入り 一重 碗咲き 筒しべ 中〜大輪 園芸品種の自然実生